

岩手・宮城内陸地震 発生から1年

～東北地方整備局における災害への対応状況について～

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震により15名の方が亡くなり、15箇所の大規模河道閉塞（天然ダム）が形成されるなど地域に大きな被害をもたらし、1年を経た現在も災害復旧対策が続いています。

東北地方整備局では、地震発生直後から直轄砂防災害関連緊急事業により河道閉塞（天然ダム）箇所の応急対策や監視・観測体制を整備・継続してきましたが、これまでのところ二次災害や土砂崩落等の大きな変状は確認されておりません。

この度、地震発生から1年を迎えるにあたり、東北地方整備局において取り組んでいる、「岩手・宮城内陸地震の経験を活かした防災対応強化の取り組み（H20.10.15記者発表を踏まえた検討及び実施の状況）」及び「河道閉塞（天然ダム）対策状況や警戒避難等に資する監視態勢等」について報告します。

※本記者発表の内容について、本日15時より整備局第一会議室で会見を行うこととしています。

〔防災対応強化の取り組み〕 資料－1

1. TEC-FORCE研修の実施
2. 無人化施工機械等の導入
3. 活動拠点マップの作成
4. リエゾン制度の周知、協定の締結

〔河道閉塞（天然ダム）対応状況等〕 資料－2

1. 河道閉塞（天然ダム）対策の進捗について
2. 警戒避難に資する監視態勢について
3. 地元及び報道機関への情報提供等について
4. 栗駒山系特定緊急砂防事業の進捗について

※震災復旧報告会（仮称）等の開催について

7月10日、国土交通省や県・市の1年間の取組状況や今後の復旧について報告会を開催します。詳細は後日記者発表いたします。

また、6月14日一関市において今後の防災対策について考える「市民防災フォーラム」（別添チラシ）を開催します。

（発表記者会）

岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、古川記者クラブ

（問い合わせ先）

〔防災対応強化の取り組み〕	企画部	防災対策官	木村 信悦（内 3125）
		防災課長	熊谷 順子（内 3411）
〔河道閉塞（天然ダム）対応状況等〕	河川部	河川計画課長	小浪 尊宏（内 3611）
		建設専門官	小竹 利明（内 3616）

住所 仙台市青葉区二日町9-15

電話 022-225-2171（昼間）

【防災対応強化の取り組み】

資料-1

現在、東北地方整備局では、岩手・宮城内陸地震及び岩手北部地震時の活動経験・知見を活かし、防災対応の強化に取り組んでいます。

《取り組み1》 TEC-FORCE研修の実施

- TEC-FORCE活動のレベルアップを図るために、H21年度にTEC-FORCE隊員等(県職員等を含む)を対象とした研修2回・セミナー3回の計5回を実施、災害対応技術の継承を図る。
- TEC-FORCE隊 装備の充実 → 山間地における通信の確保として衛星携帯電話(小型)を導入

TEC-FORCE研修(1期)[5月27日:栗原市における現地実習状況]



▲衛星携帯電話による通信確認

TEC-FORCEセミナー(機械)[4月15日:排水ポンプ車稼働実習]



《取り組み2》 無人化施工機械(遠隔操縦式)等の導入

①遠隔操縦式バックホウの導入

有人施工が不可能な危険箇所の作業において遠隔バックホウが有効であることから
○H21年度に遠隔操縦式バックホウ0.5m3級1台を岩手河川国道事務所へ配備する予定。
また、遠隔操縦式バックホウのオペレーター育成・確保についても検討中。

②排水ポンプの充実

山間部における河道閉塞対応に軽量・高揚程型の排水ポンプが有効であることから
○H21.3に空輸に対応可能な「軽量・高揚程型ポンプ車」1台を東北技術事務所へ導入。
○H21年度にさらに「軽量・高揚程型ポンプ車」1台を秋田河川国道事務所へ配備予定。

③空輸対応のバックホウ開発

山間部における河道閉塞対応にヘリによる重機輸送が有効であることから
○空輸を想定した分解・組立型1.0m3級バックホウの開発についてH21年度から着手。

東北技術事務所へ導入した「軽量・高揚程型ポンプ車」



岩手・宮城内陸地震における排水ポンプ稼働状況



岩手・宮城内陸地震における遠隔操縦式バックホウ作業状況



《取り組み3》活動拠点マップの作成

- 大規模災害に備え、自治体の施設も含めた活動拠点マップを作成

活動拠点マップ



※電子国土上に拠点施設を表示

岩手県内の拠点リスト(一部抜粋)

区分	施設名	住所	災害時活動拠点要		設備(施設全館)					備考
			定数	面積(m ²)	非常階段	野水設備	自衛消防	ATM	NTT設備	
庁舎	岩手河川国道事務所	岩手県盛岡市上田4丁目49-1	大会議室	●	有	有	有	有	有	
庁舎		岩手県一関市飯塚寺字石ノ森155-81		●	有	有	有	有	有	

《取り組み4》リエゾン制度の周知、協定の締結

○災害対策現地情報連絡員(リエゾン)とは

- ・平成19年12月に創設
- ・被災地方公共団体との災害支援窓口として、県等の災害対策本部に派遣することで、被災情報の収集や提供を行い、的確な災害対策支援の実施に資することを目的とする。
- ※リエゾン(Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語)

○岩手・宮城内陸地震における活動内容

- ・被災のあった2県3市(岩手県庁、宮城県庁、一関市、奥州市、栗原市)に対して近隣事務所から1~2名派遣・配置。
- ・各地の被害規模等を速やかに把握し、TEC-FORCE派遣の判断材料となるなど、有効に機能した。

- 市町村に対して、リエゾン制度の説明を実施し、調整窓口を開設済み
- 宮城県栗原市、岩手県一関市及び青森県西目屋村とリエゾン派遣に関する協定を締結済み。その他の市町村についても順次締結予定

岩手・宮城内陸地震におけるリエゾン活動状況



宮城県庁



岩手県庁



栗原市

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE) 平成20年5月28日発足(東北地震)

- 地震、水害・土砂災害等から国民の生命と財産を守ることは国の基本的責務
- 地球温暖化等による災害リスクの増大に対し、
人員・資機材の派遣体制等の充実を図り、危機管理体制を強化

※ Technical Emergency Control Force

・これまでの国による緊急支援は **その都度** 体制をとって対応

- ・あらかじめ職員をTEC-FORCE隊員として任命するなど、**事前に**人員・資機材の派遣体制を整備し、迅速な活動を実施
- ・平時にシミュレーション、訓練を行うことにより **リスクアップ**

- 被災状況の迅速な把握
- 社会基盤施設の早期復旧
 - ・初動対応の迅速化
 - ・専門チームによる集中対応
 - ・復旧対策に関する技術指導の充実・強化
- 二次災害の防止
 - ・被災箇所に対する高度な技術指導
 - ・応急対策(立案・実施)
 - ・災害急検度予測(避難判断)
- その他災害応急対策
 - ・緊急輸送の調整

体制規模

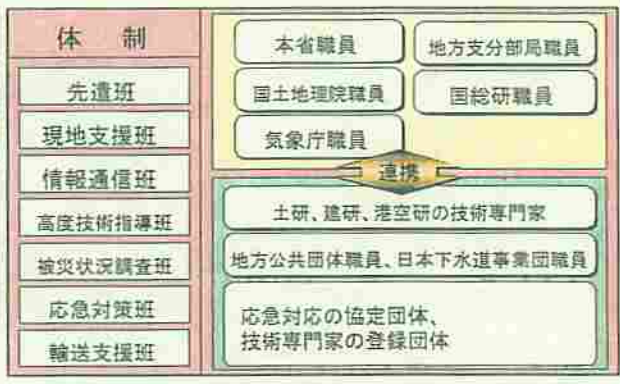
- 全国では約2,600人規模
- 東北地方整備局では291人体制

活動内容

- 全国の地方支分部局職員等が本省の総合調整により活動
- 国が主体的に緊急調査を実施
- 関係機関と連携して必要な緊急応急対策を実施
- 対象とする災害は、地震、津波、風水害、火山災害、雪害



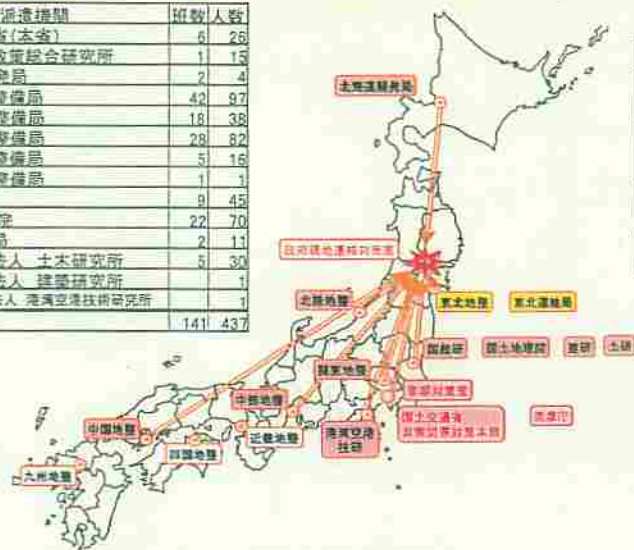
風水害



岩手・宮城内陸地震におけるTEC-FORCEの活動(広域的・機動的な対応)

○ 国土交通本省及び地方整備局等の派遣状況
 ・派遣機関14機関 ・派遣人数437名(のべ人員1,499人・日)の派遣

派遣機関	班数	人数
国土交通省(本省)	6	26
国土技術政策総合研究所	1	15
北海道開発局	2	4
東北地方整備局	42	97
関東地方整備局	18	38
北陸地方整備局	28	82
中部地方整備局	5	16
中国地方整備局	1	1
気象庁	9	45
国土地理院	22	70
東北運輸局	2	11
独立行政法人 土木研究所	5	30
独立行政法人 建築研究所	1	1
独立行政法人 港湾空港技術研究所	1	1
合計	141	437



TEC-FORCE隊員や災害対策用機械が全国から即日集結

○ 地震発生当日のTEC-FORCEの動き

時刻	活動内容
8:43	岩手県内陸南部を震源とするM7.2、震度6強の地震発生 地震発生と同時に東北地方整備局災害対策本部を設置
10:00	防災ヘリコプターみちのく号(東北地震)による調査飛行開始(TEC-FORCE先遣班) 続いて、ほくり号(北陸地震)、あおぞら号(関東地震)が飛び立ち調査を開始
14:10	河川、砂防、道路、住宅、港湾、ダム、下水道等の専門家による調査開始(TEC-FORCE先遣班)
24:00	照明車(北陸・関東)が一関市に集結(TEC-FORCE応急対策班)



▲ 国交省防災ヘリによる調査



▲ TEC-FORCEの出発式(東北)



▲ 土砂災害危険箇所近 調査状況



▲ 被害状況調査班(道路)調査状況



▲ 高度技術指導班(河道閉塞)



▲ TEC-FORCE先遣班による調査(傍路大橋)



1. 河道閉塞（天然ダム）対策の進捗について・・・別紙1（P6～P15）

○直轄砂防災害関連緊急事業

15箇所の河道閉塞（天然ダム）のうち、直轄砂防災害関連緊急事業により対策を実施している箇所は9箇所です。（岩手県側：市野々原地区、産女川地区、宮城県側：浅布地区、小川原地区、温湯地区、湯ノ倉温泉地区、湯浜地区、沼倉地区、沼倉裏沢地区）

緊急対応として仮排水路、本復旧として除石工及び溪流保全工を実施しています。

・これまでの対応

緊急対応として岩手県（市野々原地区、産女川地区）宮城県（浅布地区、小川原地区、沼倉）の5地区は仮排水路等の整備を平成20年8月上旬から10月下旬までに完成させています。また、宮城県（沼倉裏沢地区）では河道整正を実施し平成20年10月下旬に完成させています。

本復旧として、岩手県（産女川地区）と宮城県（温湯地区）の2地区において除石工を平成20年10月下旬から11月下旬に完成させています。

・これからの予定

岩手県（市野々原地区）、宮城県（浅布地区、小川原地区、湯ノ倉温泉地区、湯浜地区、沼倉地区）の6地区について、本復旧の溪流保全工等に着手し平成21年11月の完成を予定しています。（現時点で湯浜地区は工事用道路整備中）

2. 警戒避難に資する監視態勢について・・・別紙2（P16～P19）

河道閉塞（天然ダム）監視のため、カメラ画像や水位計データ及び土石流センサー切断等の情報を県・市に提供することで警戒避難に資する監視態勢を構築しています。

異常出水や降雨の状況及び震度4以上の地震発生時等にヘリコプター監視を延べ44回実施しその結果を県・市に提供しています。これらのデータは東北地方整備局ホームページでも公表しています。

また、河道閉塞（天然ダム）の大規模侵食等の緊急事態対応の訓練として、県・市等関係機関と連携を図り避難訓練及び情報伝達訓練を計3回実施しました。

3. 地元及び報道機関への情報提供等について・・・別紙3（P20）

工事の進捗状況等について地元説明会を一関市・栗原市で延べ13回実施するとともに、報道機関を対象とした現地合同取材を一関市・栗原市延べ9回実施しました。

また、関係機関と合同で情報伝達・避難訓練を一関市・栗原市で延べ4回実施しました。

4. 栗駒山系特定緊急砂防事業の進捗について・・・別紙4（P21）

15箇所の河道閉塞（天然ダム）のうち、平成21年度から新たに創設された特定緊急砂防事業により9箇所対策を実施します。（岩手県側：市野々原地区、槻木平地区、産女川地区、宮城県側：小川原地区、温湯地区、湯ノ倉温泉地区、湯浜地区、沼倉地区、沼倉裏沢地区）

当面は、砂防施設整備のための調査測量及び設計等を実施し、今後約5箇年で砂防えん堤等の整備を実施する計画です。

※市民防災フォーラム ～岩手・宮城内陸地震から1年～ 別添チラシ（P22）

河道閉塞(天然ダム)箇所図

※本資料は平成20年7月16日公表資料に下記コメントを追加したものです。

東北地方整備局では、確認された15箇所の河道閉塞(天然ダム)のうち、「河道掘削及び床固工事でより決壊・氾濫の可能性を低下させるもの(7箇所)」、「決壊の切迫性は小さいものの、今後の降雨に伴う土砂の流出に備え、下流で待ち受け施設を確保するもの(5箇所)」、「降雨等により流路が形成される等決壊の危険性が低いもの(3箇所)」に分類し対策を実施しています。

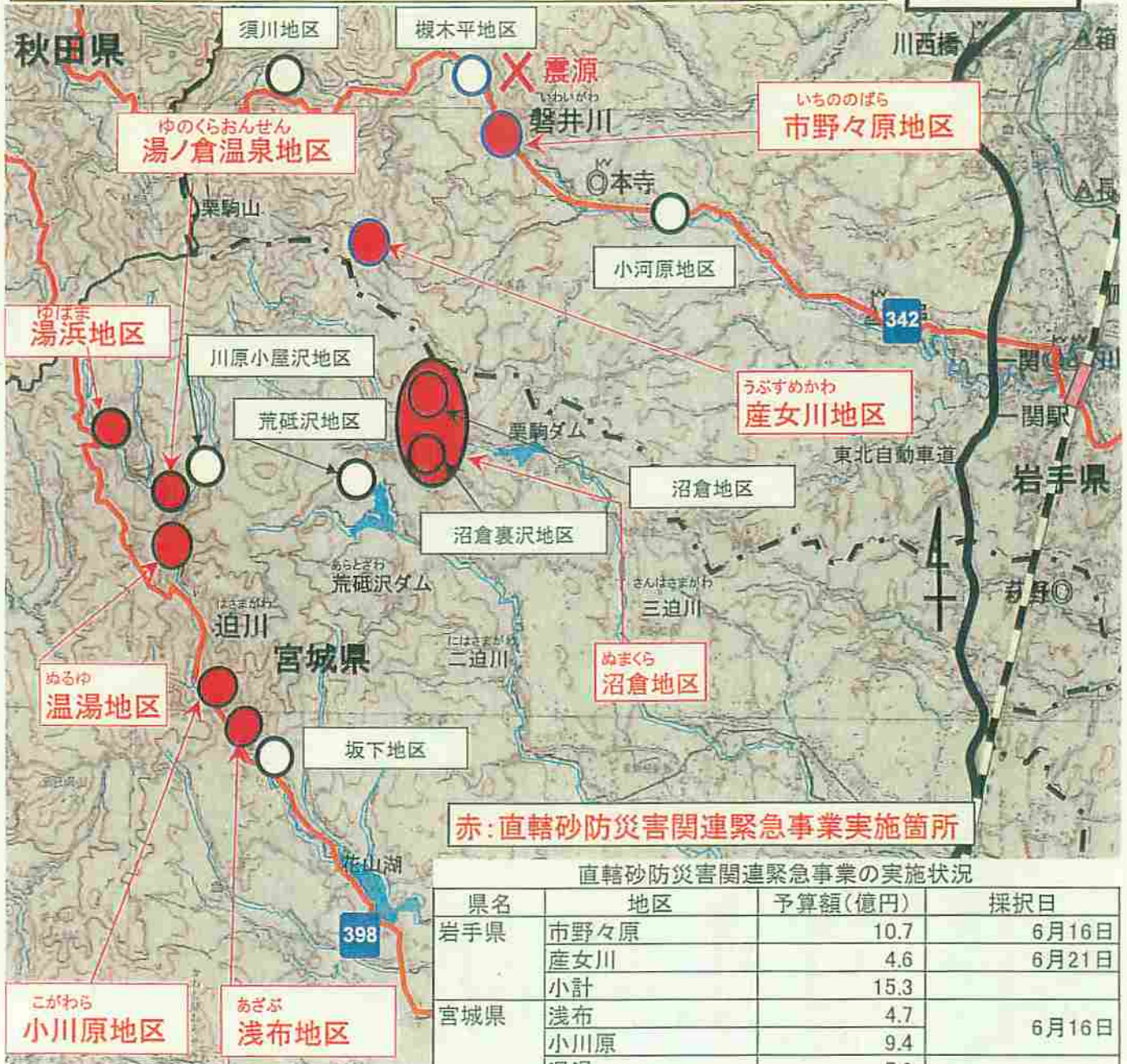


直轄砂防災害関連緊急事業の実施箇所位置図

別紙1 (2/10)

岩手・宮城両県知事からの要請をうけ、東北地方整備局では、ヘリコプター等による現地調査の結果に基づき15箇所の河道閉塞(天然ダム)を確認し、決壊により下流への氾濫のおそれが高い9箇所の河道閉塞(天然ダム)について、直轄砂防災害関連緊急事業により、地域の安全・安心確保のための工事を実施しています。

【位置図】



赤:直轄砂防災害関連緊急事業実施箇所

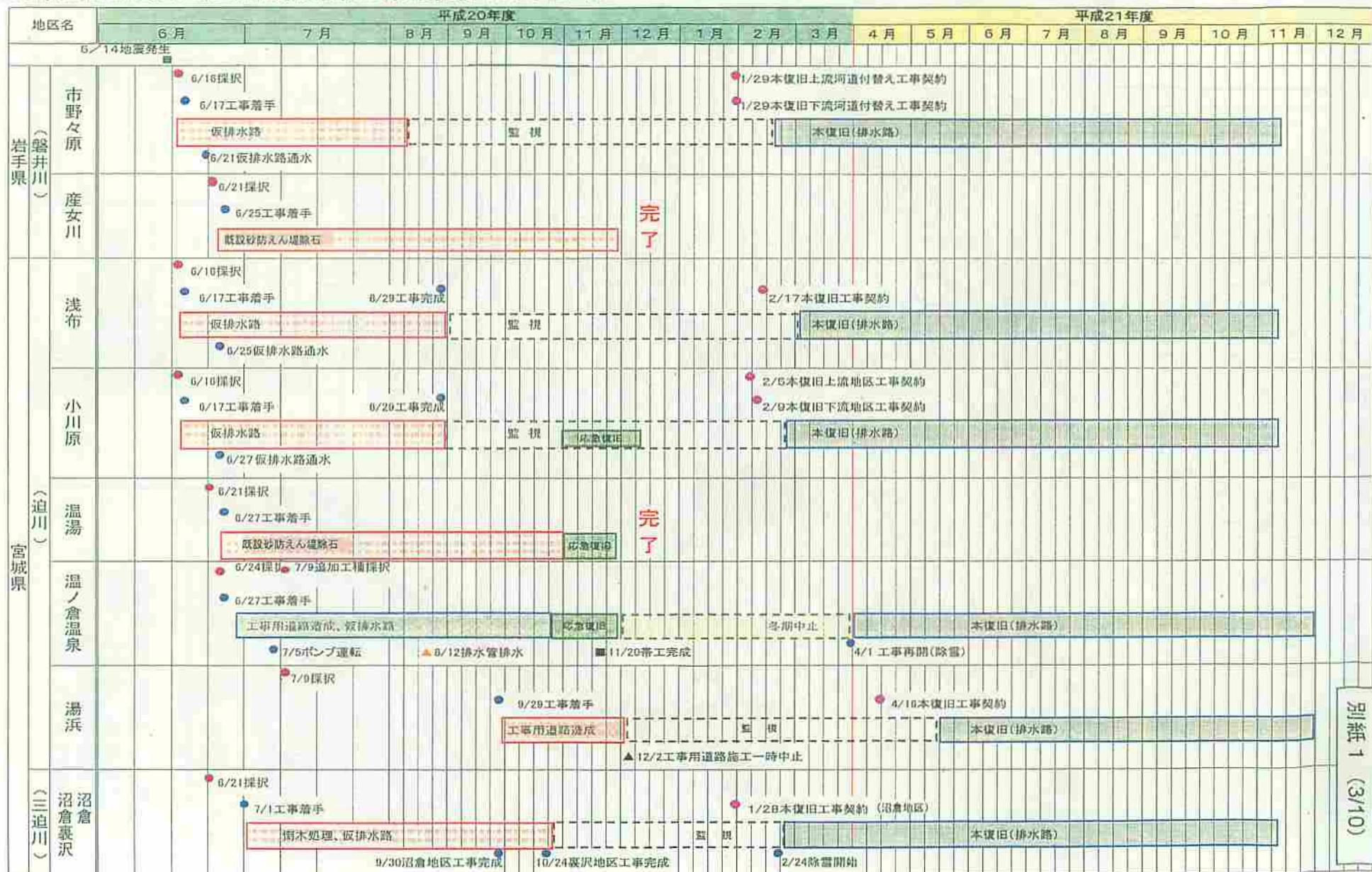
直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

県名	地区	予算額(億円)	採択日
岩手県	市野々原	10.7	6月16日
	産女川	4.6	6月21日
	小計	15.3	
宮城県	浅布	4.7	6月16日
	小川原	9.4	
	温湯	5.2	6月21日
	沼倉	8.0	
	湯ノ倉温泉	1.3	6月24日
	湯ノ倉温泉(追加)	1.8	7月9日
	湯浜	15.9	
	小計	46.4	
合計		61.7	

現在、15箇所の河道閉塞(天然ダム)のうち、直轄砂防災害関連緊急事業により7箇所で対策を実施中です。

河道閉塞（天然ダム）対策の進捗について

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール



別紙1 (3/10)

直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

別紙1 (4/10)

〇市野々原地区（岩手県一関市）

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール



地震発生から3日後の6月17日から河道閉塞箇所の仮排水路整備に着手し、7日後に通水開始、8月15日に仮排水路を完成。

■被災直後の状況



■河道閉塞箇所からの越水に備えて大型土のう設置



■夜を徹した仮排水路掘削作業

仮排水路延長 約120m
 発災7日目に通水開始
 (掘削箇所が岩盤であり作業が難航した。)



■ポンプ排水による水位上昇の抑制



■仮排水の拡幅（通水開始）



■現在の状況



直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

別紙1 (5/10)

○産女川地区（岩手県一関市）

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール

地区名	平成20年度											平成21年度							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
6/14地震発生																			
岩手県 (産女川)																			

完了

11/27除石完了

地震発生から11日後の6月25日から産女川地区下流の既設砂防えん堤の除石に着手し、11月27日に完了。



○浅布地区（宮城県栗原市）

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール

地区名	平成20年度											平成21年度							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
6/14地震発生																			
宮城県 (迫川)																			

8/29応急対策完了

8日後に通水開始

2/17本復旧着手

地震発生から3日後の6月17日から河道閉塞箇所の仮排水路整備に着手し、8日後に通水開始、8月29日に仮排水路を完成。



直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

別紙1 (6/10)

○小川原地区 (宮城県栗原市)

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール



地震発生から3日後の6月17日から河道閉塞箇所の仮排水路整備に着手し、6月27日に通水開始、8月29日に仮排水路を完成。



直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

別紙1 (7/10)

○温湯地区（宮城県栗原市）

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール

地区名	平成20年度											平成21年度										
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				
宮城県 栗原市 温湯地区 追川	6/14地震発生																					
	6/21探検																					
	6/27工事着手																					
	既設砂防えん堤除石											完成予定										

完了
10/20除石完了

地震発生から13日後の6月27日から温湯地区下流の既設えん堤の除石工に着手し、10月20日に除石完了。



○湯浜地区（宮城県栗原市）

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール

地区名	平成20年度											平成21年度										
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				
宮城県 栗原市 湯浜地区 追川	6/14地震発生																					
	7/5探検																					
												9/29工事着手										
												工事用道路建設										
												12/2工事用道路施工一時中止										
												4/16本復旧工事契約										
												本復旧(橋米路)										

9月29日から工事用道路に着手したが、地形が急峻であり地震の影響で地盤が弱くなっていることからルート選定に難航。
本復旧工事は4月16日に契約済み、現在昨年度に引き続き工事用道路施工中。



直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

別紙1 (8/10)

○湯ノ倉温泉地区（宮城県栗原市）

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール

地区名	平成20年度											平成21年度						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
6/14地震発生																		
宮城県 湯ノ倉温泉	● 8/24復旧・7/9追加工事実施																	
	● 8/27工事着手																	
	工事用道路造成・仮排水路																	
	● 7/5ポンプ運転 ● 8/12排水管排水 ● 11/20帯工完成																	
7/5ポンプ排水開始																		
9/12排水管排水開始																		
11/20帯工完成																		
受取中止																		
本復旧(積込路)																		
4/1 工事再開(除雪)																		

地震発生から13日後に工事用道路及び仮排水路に着手、工事用道路造成に時間を要することからヘリコプターによる機材運搬を実施。

7月5日にポンプ排水開始、8月12日に排水管排水開始、11月20日に帯工完成。

■被災直後の状況



■ヘリコプターによる機材運搬



■工事用道路造成



■ポンプによる排水作業



■仮排水パイプ設置

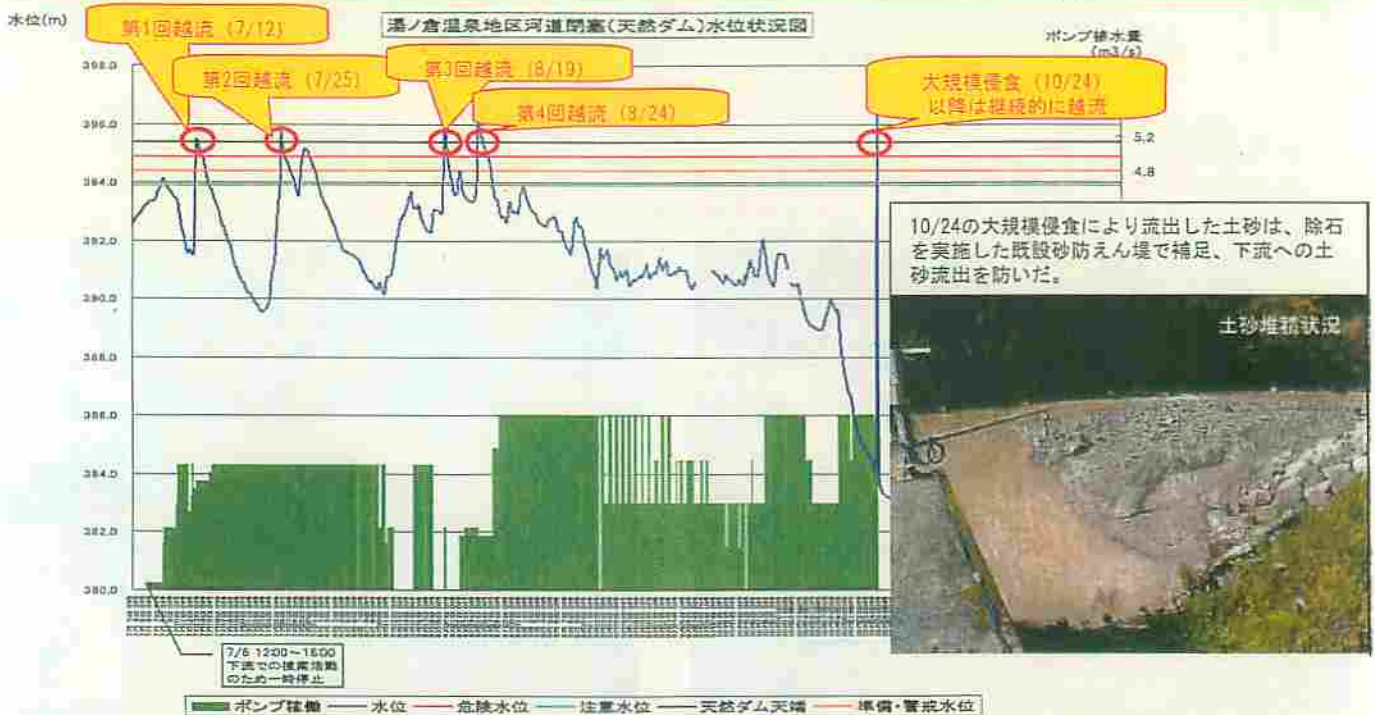


■現在の状況



○湯ノ倉温泉地区の大規模侵食について

地震発生後、降雨により4回の越流を経験し、5回目の越流の際に大規模侵食が発生し下流へ土砂が流出しました。予め除石を行っていた下流のえん堤で土砂を捕捉。また、河道の安定化を図るため、帯工の整備を実施。



■排水ポンプ設置と排水状況



■仮排水路流下状況



■平成20年10月24日大規模侵食後の滞筋



■応急対策として実施した帯工



直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

別紙 1 (10/10)

○沼倉地区 (宮城県栗原市)

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール

地区名	平成20年度											平成21年度						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
6/14地震発生																		
6/21堤防決壊																		
7/1工事着手																		
9/30仮排水路完成																		
1/28本復旧工事契約																		
1/28本復旧着手																		
2/24陸揚開始																		
9/30沼倉地区工事完成																		
本復旧(排水路)																		

7月1日から河道閉塞箇所の倒木処理及び仮排水路整備に着手、9月30日に仮排水路完成、1月28日から本復旧に着手



○沼倉裏沢地区 (宮城県栗原市)

河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業 スケジュール

地区名	平成20年度											平成21年度						
	5月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
6/14地震発生																		
6/21堤防決壊																		
7/1工事着手																		
10/24河道整正完了																		
10/24裏沢地区工事完成																		
倒木処理、仮排水路																		

7月1日から河道閉塞箇所の倒木処理及び河道整正に着手、10月24日に完了。現在、監視継続中。



警戒避難に資する監視態勢について

河道閉塞（天然ダム）監視のため、カメラ画像や水位計データ及び土石流センサー切断等の情報を県・市に提供することで警戒避難に資する監視態勢を構築しています。

凡例

土石流センサー
水位計
監視カメラ
雨量計

警戒避難に資する監視態勢について

地区名			監視機器	平成20年度												平成21年度				備考
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			
岩手県	磐井川	市野々原	土石流センサー（磐S-1）	設置															上段7/4、下段6/19設置、監視継続中	
			土石流センサー（磐S-2）	設置															6/23設置、監視継続中	
			水位計（WL-1）	設置																6/19設置、監視継続中
			水位計（WL-2）	設置																6/20設置、監視継続中
			監視カメラ（磐C-1）	設置																6/17設置、監視継続中
	産女川		土石流センサー（磐産S-1）	設置															上段7/3、下段6/27設置、監視継続中	
			監視カメラ（磐産C-1）	設置															6/23設置、監視継続中	
雨量計（磐産R-1）			設置						冬期閉鎖									7/5設置、12/26冬期閉鎖、6月下旬再開		
宮城県	迫川	浅布	水位計	設置														6/21設置、監視継続中		
		温湯	土石流センサー	設置（国）						冬期閉鎖							設置（県）	7/2設置（国）、12/2冬期閉鎖、5/20設置（県）		
			監視カメラ	設置															7/2設置、監視継続中	
	水位計		設置															7/1設置、監視継続中		
	湯ノ倉温泉	監視カメラ	設置						冬期閉鎖							設置	7/6設置、11/27冬期閉鎖、5/27設置			
		水位計		設置					冬期閉鎖							設置	7/22設置、11/27冬期閉鎖、5/27設置			
	湯浜	監視カメラ		設置					冬期閉鎖							設置	7/28設置、11/5冬期閉鎖、5/15設置			
		水位計		設置														7/5設置、監視継続中		
	三迫川	沼倉裏沢	土石流センサー													設置		5/27設置		

別紙2 (1/4)

迫川・三迫川 監視体制

迫川、三迫川、磐井川上流(次ページ)において、東北地方整備局及び宮城県・岩手県が連携を図りながら、監視カメラ・土石流センサー・水位計等を設置し、宮城県栗原市、岩手県一関市の警戒避難のために情報提供を行っています。また、監視カメラや水位計の情報は東北地方整備局ホームページでも公開しています。



- 凡例
- 土石流センサー(WS)
 - 📷 監視カメラ
 - 📏 水位計
 - 📏 雨量計

■ホームページでの画像提供



磐井川上流 監視体制



※時雨量観測所 (既設)



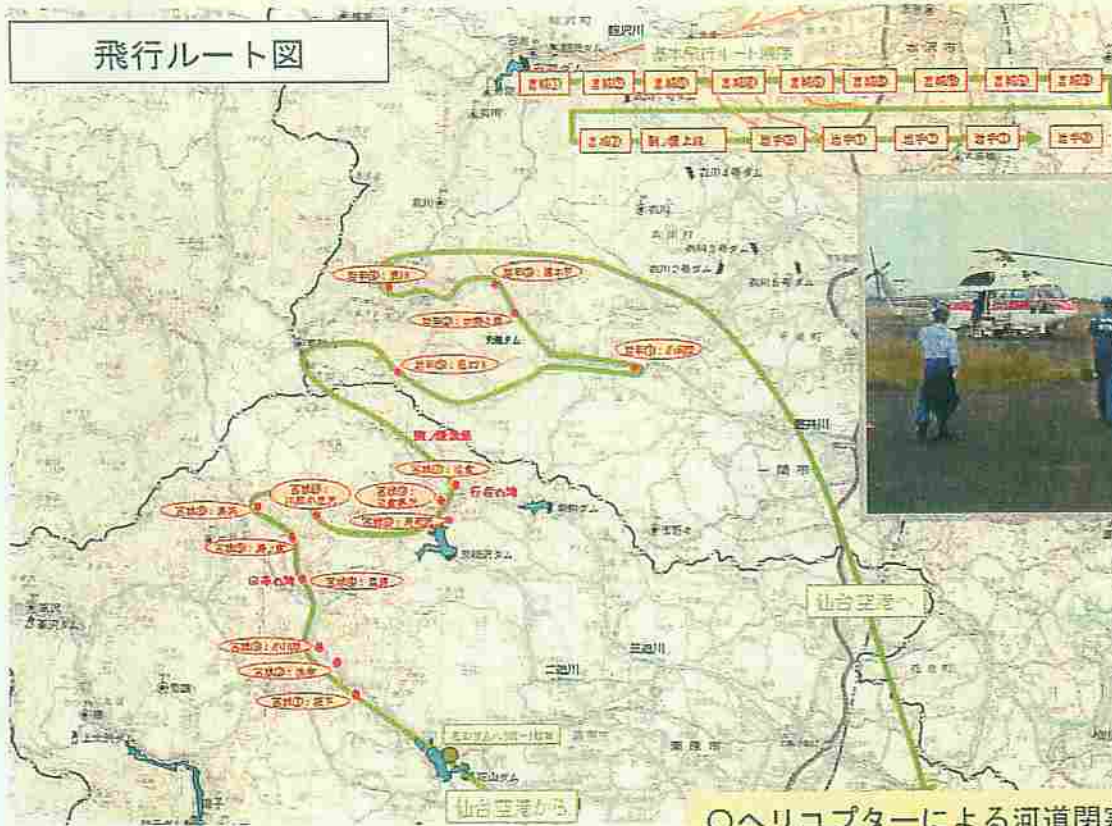
- 凡例
- 土石流センサー(国) [複線]
 - 土石流センサー(国) [単線]
 - 土石流センサー(県)
 - ケーブル(水位・雨量)
 - ケーブル(WS用)
 - 雨量観測所(国)
 - 雨量観測所(気象台)
 - 水位観測所(国)
 - 警報装置(サイレン・警告灯)
 - 基地局(携帯電話による通信)
- 監視継続機器
- 再設置予定

■ホームページでの画像提供



○東北地方整備局では、大規模な河道閉塞（天然ダム）のヘリコプター監視を震度4以上の地震発生時や異常出水、降雨の状況等により、適宜実施しています。

飛行ルート図



○ヘリコプターによる河道閉塞（天然ダム）の監視は、東北地方整備局配備のみちのく号ほか計4機により、発災後これまで計44回実施しております。

監視結果（個票例）

ヘリ調査結果 個票

番号	宮城県	箇所名 (河川名) 所在地位
	岩手県	岩手県宮内郡
状況写真		
5月26日		

監視結果（個票）は東北地方整備局HP「岩手・宮城内陸地震関連情報」ページで閲覧できます。

ヘリ調査結果 個票

番号	岩手県	箇所名 (いものかぼち) 所在地位
	岩手県	岩手県一宮市
状況写真		
5月26日		

・空母船着
・堤防水跡より
・水跡範囲は緑
色で示す。

栗駒山系特定緊急砂防事業

●特定緊急砂防事業について

岩手・宮城内陸地震により荒廃した栗駒山系において、応急対策に引き続き一定計画に基づき実施する河道閉塞（天然ダム）箇所対応等の高度な技術力が必要となる工事を、短期・集中的に砂防設備等の整備を国直轄で実施し下流域を土砂災害から保全するため、新規事業着手します。

●対策を実施する河道閉塞（天然ダム）について

- ・岩手県側：3箇所（いちののぼら市野々原、つきのきだいら槻木平、うぶすめかわ産女川）
- ・宮城県側：6箇所（こがわら小川原、ぬるゆ温湯、ゆのくら湯ノ倉、ゆばま湯浜、ぬまくら沼倉、ぬまくらうらさわ沼倉裏沢）

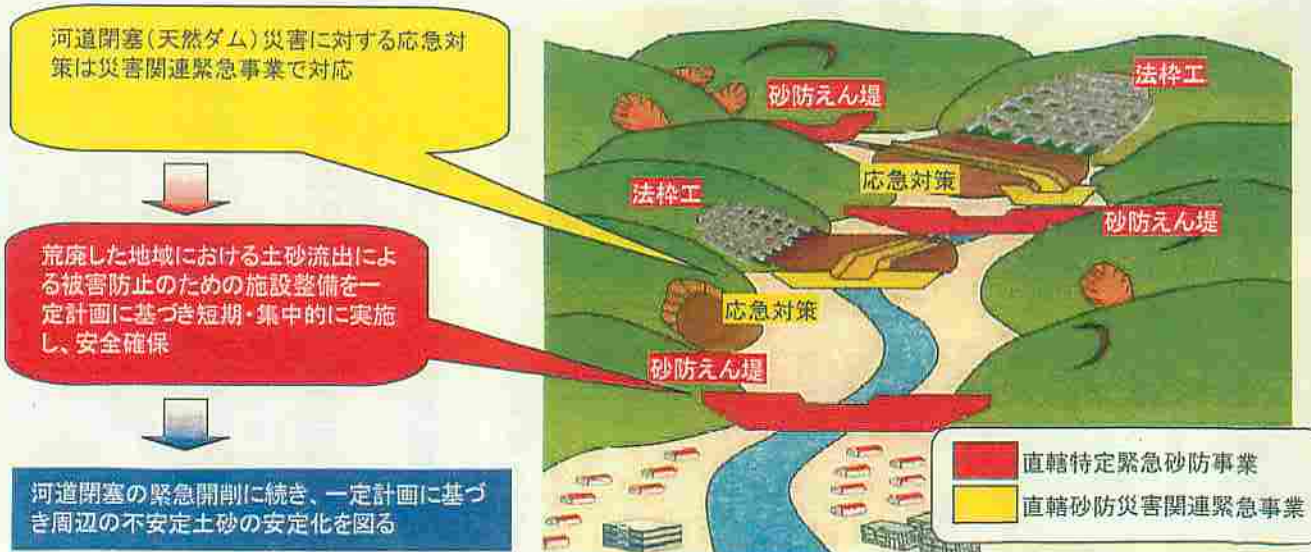
位置図

（岩手県・宮城県）

事業箇所



【直轄特定緊急砂防事業のイメージ図】



一年前のこの日、地震は突然襲ってきた

がんばろう!岩手

別添

市民防災フォーラム

～岩手・宮城内陸地震から1年～



大規模災害による被害を軽減するために、
市民・地域社会・マスコミ・行政それぞれが
何をすべきなのか、何ができるのか。
地震発生からちょうど1年を契機に、
当時の状況を振り返りつつ、みなさんで考えてみませんか？

2009

6/14日

入場
無料

時間 13:30～16:30

場所 一関文化センター 大ホール

岩手・宮城内陸地震 記録映像上映

基調講演 [齋藤徳美 岩手大学副学長]
「岩手・宮城内陸地震から何を学ぶか」

パネルディスカッション
「岩手・宮城内陸地震を振り返る
～自助・共助・公助のあり方について～」

コーディネーター 齋藤 徳美 岩手大学副学長
パネリスト 佐藤 勝雄 前一関市鼓美18区区长
箱石 勝守 一関市消防団一関第4分団第2部長
宿輪 智浩 IBC岩手放送報道部
坂本 紀夫 一関市副市長
青木 俊明 岩手県南広域振興局一関総合支局長
山本 聡 国土交通省岩手河川国道事務所長

P 駐車場有

(お車でお越しの際は、一関市役所内臨時
駐車場をご利用ください。市役所～会場
までのシャトルバスを運行します。)

会場同時開催

起震車乗車体験
(会場エントランス)

パネル展
(1階小ホール)



主催 一関市、岩手県、国土交通省岩手河川国道事務所

一関市消防本部

〒021-0053 一関市山目字中野140番地3号 ☎0191-25-0119(代)

岩手県砂防防災課

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号 ☎019-629-5923(直)
<http://www.pref.iwate.jp/>



国土交通省 岩手河川国道事務所 調査第一課

〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2 ☎019-624-3166(直)
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/>